

活動名称 (40字以内)	中国・海南島の自然保護区管理を知る		
団体名等	大学院農学生命科学研究科附属演習林		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input checked="" type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		10 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う		
大学院学生	<input checked="" type="checkbox"/> 含む <input type="checkbox"/> 含まない		
参加資格等	学部学生、大学院生を問わず、海外の自然保護区やその活動に興味がある学生(文系理系を問わない)の参加を期待している。		
活動期間	2023/7/31(月) ~ 2023/8/7(月) 8日間	主な活動予定場所	中国・海南島
目的	生物多様性に富み世界的に見ても貴重な熱帯の自然が残る海南島で、自然保護区、国立公園、自然公園などを見学し、実際に行われている活動に触れることで、自然保護の意味とその必要性を体感しよう。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>中国でもっとも新しい省である海南省は、海南島を中心として多くの島からなる熱帯の自然豊かな地域である。本活動では、海南島に多数設置されている自然保護区を中心に、国立公園、自然公園などを見学し、そこで行われている活動に触れることで、貴重な自然を守るの意味と必要性について体感して欲しい。海南島は熱帯林を中心とした陸域と島の周囲に広がる海域に多くの同植物が生育しており、生物多様性に富むばかりか固有性も高く世界的に見ても貴重な自然が残っている。この自然を守るため数多くの自然保護区が設置されているが、経済的、社会的なさまざまな要因からその活動は必ずしも容易ではない。今回の活動では以下のような自然保護区や国立公園の見学を予定しており、そこの活動について説明を受けることで、「自然保護」の意味や必要性を各々の感性で感じ取って欲しい。</p> <p>(日程:現時点での計画であり、訪問地は一部あるいは大幅に変更になる可能性がある)</p> <p>第1日 羽田→広州→海口(海南省)          第2日 海南大学海口キャンパス見学          第3日 海南大学儋州キャンパス熱帯植物園見学          昌江市海尾湿地公園見学          第4日 霸王嶺国家級自然保護区見学          第5日 尖峰嶺国家級自然保護区見学          第6日 東寨港国家級自然保護区見学          第7日 海口市内見学          海南大学海口キャンパスにて終了式・交流会          第8日 海口→広州→羽田</p>		
備考	※本活動には大学院農学生命科学研究科附属演習林のスタッフ数名が同行する。また、すべての行程が海南大学林学院(大学院農学生命科学研究科と学術交流協定を結んでいる)スタッフのサポートを受けて実施される。 ※プログラム全体を通してバスでの移動が多い。またプログラムの中に山岳地の見学が含まれている。 ※海南島は熱帯の島であり、夏のプログラムであるため気温が高い。		
参加するための費用※	内訳(1名当たり)	その他※特記事項は以下に記載	
	交通費 実費 円 宿泊費 実費 円 計 60,000 円	航空機代を除いて、現地に必要な交通費、宿泊費等の経費として60,000円程度を集金する予定。 奨励金額 活動後に算出	
ウェブサイト等	海南大学林学院: <a href="https://hd.hainanu.edu.cn/linxue/">https://hd.hainanu.edu.cn/linxue/</a> 大学院農学生命科学研究科附属演習林: <a href="https://www.uf.a-u-tokyo.ac.jp/">https://www.uf.a-u-tokyo.ac.jp/</a>		